

駐在員日記 ～東アジアエリアvol.2～

当行派遣行員の日常生活や現地での活動内容等についてご紹介します。

(上海駐在員事務所 船田 美遥)

【高まる節約志向】

上海で暮らしていると、スタバのカフェラテが約600円（日本では490円）など様々な面で物価の高さを実感します。その一方で、賞味期限が近い商品等を扱うディスカウントストアが店舗を拡大しています。昨年中国では若年層の高い失業率が話題になりましたが、そうした社会課題等を背景に都市部で暮らす若者の節約志向が高まっています。今後の中国市場においては、日本と同様に、価格を抑えた商品や高コスパ商品の需要がより一層高まるかもしれません。



上海市内のディスカウントストア
「HotMax」

(上海トレーニー 市川 岳史)

【日本産のような中国産】

中国で生活しているとお菓子のパッケージや化粧品のサイトで、ちょっとした日本語を見かけることがあります。日本のブランドなのかな？とよく見てみると、産地は中国、製造元も中国企業ということが多々あります。日本産は品質が高い、美味しいといったイメージを利用した戦略でしょうか。実際、品質も年々向上しており、皆さんが日本で手にする日本語パッケージの製品も実は中国企業が製造元かもしれません。



私がよく買うビーフジャーキー
(中国企業が製造元)

(上海トレーニー (2024年2月赴任予定) 青木 日和)

【中華街から見る異文化】

日本の「三大中華街」をご存知でしょうか。中華街といえは多くの方は横浜を思い浮かべるとは思いますが、実は神戸と長崎にも中華街があります。私は先日、出張で長崎新地中華街を訪れました。新地中華街は横浜と比べると規模はかなり小さめですが歴史は古く、江戸時代中期に中国からの貿易品を保管する倉庫を建てるために、海を埋めたててできた街だそうです。日本の歴史を紐解くと、隣国である中国との交流が深いことを改めて感じさせられます。



長崎新地中華街

【お問合せ先】

七十七銀行 市場国際部 アジアビジネス支援室
TEL.022-211-9880

【弊行ネットワークを活用した海外ビジネス支援】

弊行の海外ネットワークを活用した各種調査（無償・有償）も承っております。ご希望の方は、左記までご連絡ください。

本紙記載の内容につきましては、当行が信頼できると考える情報に基づき作成しておりますが、その正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談いただくようお願い申し上げます。